

【第5回】12月17日（土）13：00～15：25

自分らしい人生の最期を迎えるために今できること - 人生会議を考えてみよう -

人はいつ命に関わる大きな病気をするかわかりません。終末期には約70%の人が、医療やケアなどを自分で決めたり希望を伝えることができなくなると言われています。病気になる前から「もしものこと」が自分に起きたとき、「どんな医療を受けたいか」「どんなことを大切にしたいか」について考え、家族や身近な人と話し合い、医療者とも共有していくことを「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）」と言います。国はACPを「人生会議」とネーミングをしました。人生の終わる時まで自分らしく生きるために、人生会議について考えてみませんか。

前半：自分らしい人生の最期を迎えるために、もしもの時に備えて人生会議について知っておきましょう。
後半：「もしバナゲーム（日本語出版：iACP）」を使って、あなたにとって大切なもの、自分自身のあり方を考えてみましょう。

-
- ◆会場：新潟青陵大学・短期大学部
 - ◆定員：15名
 - ◆講座申込締切：12月6日（火）
 - ◆対象：どなたでもご参加いただけます
 - ◆保育サービス定員：5名 [申込締切 11月30日（水）]
 - ◆受講料：1,000円

※以下の方は受講料を減額いたします。当日、受付での申告をお願いいたします。

1. 障がい当事者：500円（障害者手帳・療育手帳 当日提示）
2. 介助者：500円
3. 本学卒業生：500円（14ページの申込書に卒業年度・学科の記載が必要です。）
4. 高校生以下・大学生（大学院生含む）：無料（学生証 当日提示）

【講師】長谷川 直子（在宅ケアシステムコーディネーター）

元訪問看護ステーション所長。現在、関係機関と連携しながら、高齢者等の健康支援を行っている。

【講師】佐々木 祐子（新潟青陵大学大学院 看護学研究科 エンド・オブ・ライフ・ケア領域 教授）

専門は死生学。日本人の看取りやグリーフケアの研究を行っている。